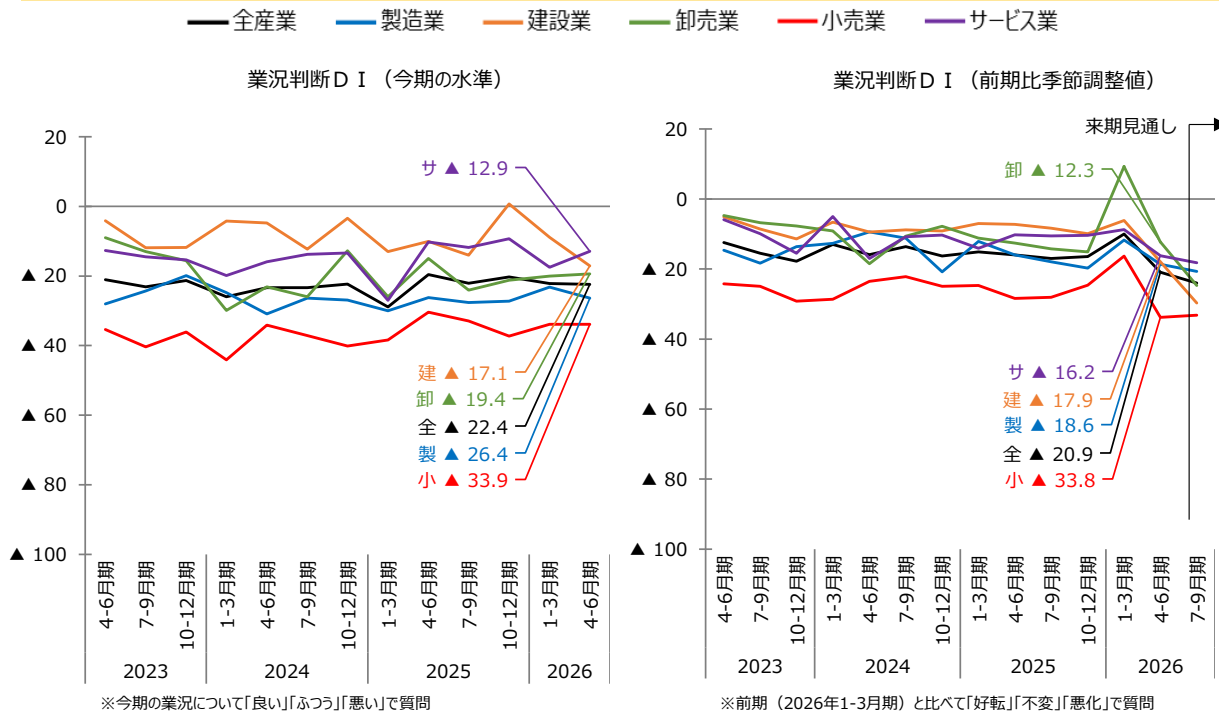


# 第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 四国

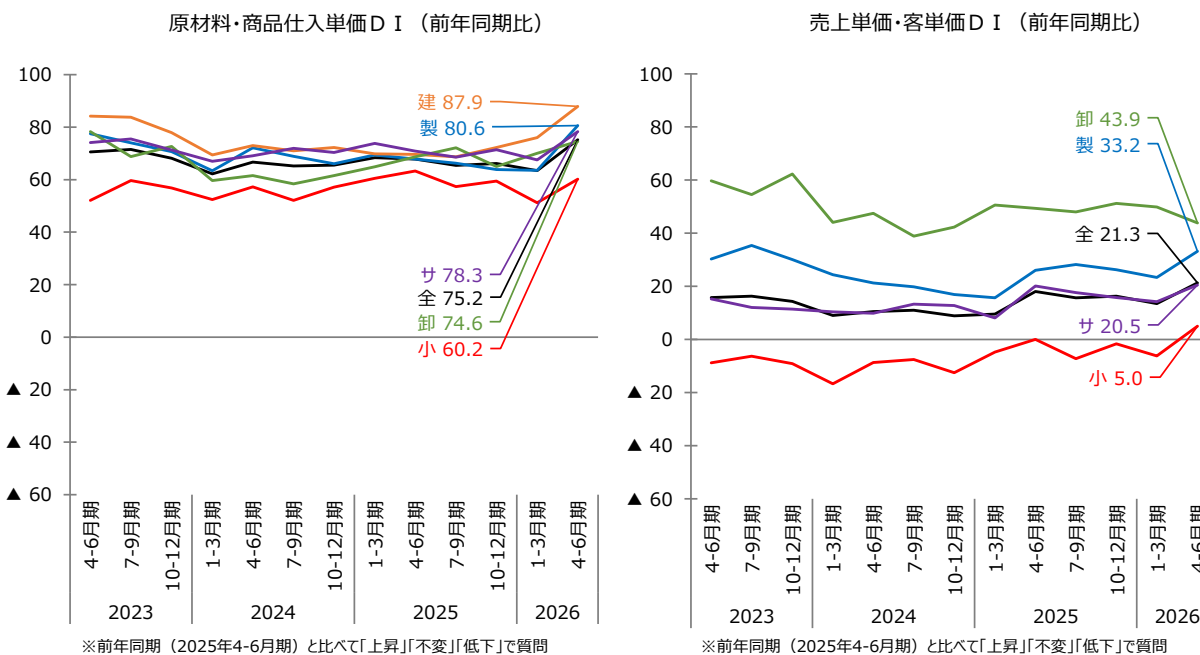
## 1. 業況感

四国地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2026年1-3月期）より0.2ポイント減の▲22.4と2期連続してやや低下した。産業別にみると、サービス業、卸売業で上昇し、小売業で横ばい、建設業、製造業で低下した。



## 2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より11.8ポイント増の75.2と2期ぶりに大幅に上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より7.8ポイント増の21.3と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、小売業、製造業、サービス業で上昇し、卸売業で低下した。



＜調査概要＞ 調査時点は2026年6月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,834 有効回答企業数：17,734 有効回答率：94.2% うち、四国：1,212企業

※本資料の集計対象の都道府県は、徳島県、香川県、愛媛県、高知県です。

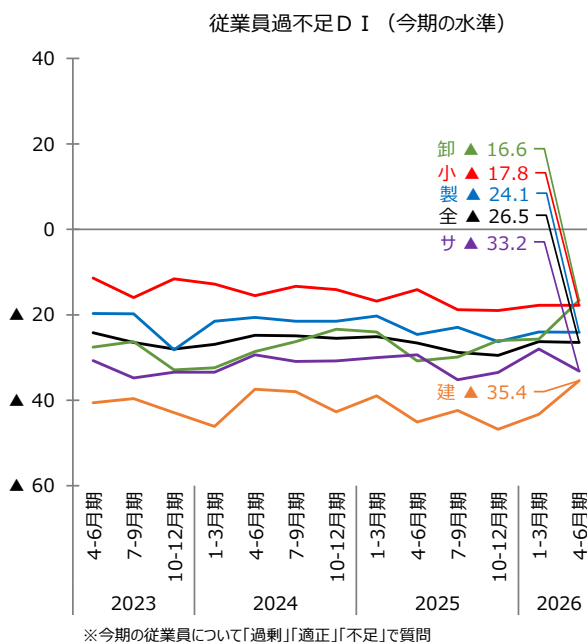
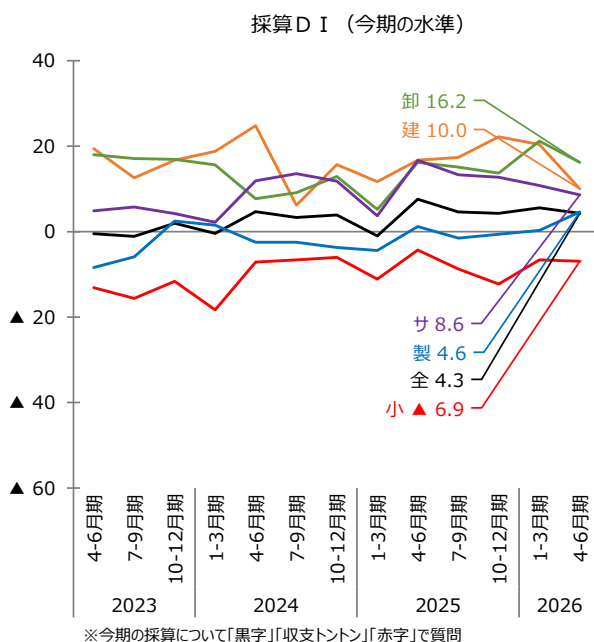
# 第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 四国

## 3. 採算

採算DIは、全産業で前期より1.3ポイント減の4.3と2期ぶりに低下した。産業別にみると、製造業で上昇し、建設業、卸売業、サービス業、小売業で低下した。

## 4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.2ポイント減の▲26.5と2期ぶりにやや低下した。産業別にみると、卸売業、建設業で上昇し、小売業で横ばい、サービス業、製造業で低下した。



## 5. 四国の中小企業の声

業況判断の背景		業種
現状	中東情勢の影響等により、材料・刃物・購入部品など全て大幅な値上げがおきており、特に半導体関連部品の短期間で度重なる価格の高騰においては、見積り時との価格差が製品に反映できなくなっている。	製造業 他に分類されないはん用機械・装置製造業
	資材価格は1.5～2倍以上高騰しているものもあるが、請負単価を同様に引き上げることは現実的に難しく、利益を圧迫している。	建設業 一般管工事業
	中東情勢で建築業界の停滞、仕入商品の単価上昇、欠品が続いており、業況悪化となっている。	卸売業 塗料卸売業
	2027年4月から家庭用エアコンの新たな省エネ基準が適用されることに伴い、買い替え・更新需要は高まっているものの、低価格帯を中心に在庫確保が難しくなっている。	小売業 電気機械器具 小売業（中古品を除く）
	エンジンオイルを中心に毎月のペースで10～15%ずつ値上がりしている状況。パーツクリーナー等、物によっては供給が停止しているものもある。	サービス業 自動車一般整備業
見通し	仏壇製品を製造するために必要なボンドが入手困難に。6月中には無くなる可能性大。ペニヤ板も減少気味。人件費の影響はまだ出てきていないが、資材確保難で売上が思うように立たなければ、影響が出てくるかも。	製造業 宗教用具製造業
	石油関連製品の入荷が遅くなり、これから受注する工事には影響が出ると思われる。値上がりが今年に入り2度目という商品もあり、今後の見通しがつかめない。	建設業 給排水・衛生設備工事業
	中東情勢の影響でナフサ由来の製品が供給不安定となっており、製品単価の上昇と入手困難な状況が当面続くものと思われる。	卸売業 婦人・子供服卸売業
	今現在は大きな影響は出ていないが、ナフサ関連の影響により、仕入単価の上昇や物価高騰による今後の不安は大きい。	小売業 化粧品小売業
	中東情勢の不安定化に伴い、石油系資材、材料の値上がり、不足がじわじわと首をしめてきている。また、物価高に伴う利用控えもあり、これから先の経営の見通しは暗い。	サービス業 普通洗濯業

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)